

各種ワクチン接種

子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン

市では子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を全額助成しています。

この助成を平成25年3月31日まで延長します。対象者は下表のとおりです。

三種混合ワクチン

三種混合ワクチンの予防接種は、中野保健センターでの集団接種で実施していましたが、より早い時期に免疫をつけていただくため、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種に併せて、医療機関で個別接種ができるようになりました。

問い合わせ先
子宮頸がん予防ワクチン
市役所健康づくり課健康管理係
☎(22)2111(内線242)
ヒブ・小児用肺炎球菌・三種混合ワクチン
市役所健康づくり課母子保健係
☎(22)2111(内線368)

	子宮頸がん	ヒブ・小児用肺炎球菌
対象者	中学校1年生～高校2年生相当の女子(平成7年4月2日～平成12年4月1日生まれ) ※新規対象者となる中学校1年生の方は、後日、個別に通知します。	生後2カ月～4歳
接種回数	3回	1～4回 (接種開始時期により異なります)
接種方法	個別接種	個別接種、集団接種
目的	子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染予防	髄膜炎・敗血症・肺炎など重症感染症の発症を予防

医師

研究資金・奨学資金の希望者募集

◇医師研究資金
対象者 県外から転入し、北信総合病院に従事しようとする整形外科医師、腎臓内科医師、呼吸器内科医師
貸付人数 2人
貸付金額 3年間従事しようとする方は600万円、2年間の場合は400万円

◇医師奨学資金
対象者 学校教育法にて医学を専攻し、卒業後3年以内に北信総合病院の医師として従事する意思がある方
貸付人数 2人
貸付金額 月額上限20万円
※いずれの資金も貸付期間と同期間勤務した場合は、全

額免除となります。また、貸付人数に達し次第、締め切りとなります。
※北信総合病院にも同様の貸付制度があります。
問い合わせ・申し込み先 〒383-0021
中野市西一丁目1番7号
市役所健康づくり課保健医療推進係
☎(22)2111(内線368)

後期高齢者 医療保険の保険料率が変わります

保険料	=	均等割額 38,239円	+	所得割額	× 7.29%
				総所得金額等 -33万円 (基礎控除額)	
平成24・25年度 保険料率					
		均等割額	38,239円		
		所得割率	7.29%		
		限度額	550,000円		

平成23年中の所得の申告に基づき、本年度の保険料額を決定します。被保険者(加入者)の皆さんへ「決定通知書等(桃色の封筒)」を7月中旬にお届けします。
※本年度中に75歳の誕生日を迎える方には、誕生日の前日までに「保険証」を、誕生日の翌月の中旬ごろに「保険料の決定通知等」をご自宅へ郵送します。
均等割額の軽減
本年度も保険料軽減措置(所得に応じて均等割額の9割、8・5割、5割、2割軽減)を継続して行います。

所得割額の軽減
総所得金額から基礎控除額33万円を差し引いた後の所得が58万円以下(年金収入で153万円から211万円まで)の方は、所得割額が5割軽減となります。
被用者保険の被扶養者であった人の軽減
後期高齢者医療制度に加入する前日に被用者保険の被扶養者であった方は均等割額が9割軽減となります。
また、所得割額はかかりません。
問い合わせ先
市役所福祉課国保医療係
☎(22)2111(内線296)
長野県後期高齢者広域連合
☎026(229)5320

指定医療機関で人間ドックを受診した方へ 健診費用を一部助成します

市では、生活習慣病の早期発見および早期治療による健康保持増進を図るため、指定医療機関で人間ドックを受診された際の健診費用の一部を助成します。

対象者
①35歳～74歳の国民健康保険被保険者(ただし、がん検査は40歳以上)
※このうち、40歳から74歳の方は、特定健診として受診していただきます。
②後期高齢者医療制度被保険者(75歳以上の方および65

歳から74歳で一定の障害がある方)

助成額
健診費用の2分の1以内(年度内1回限り、がんドック助成を受けた方や各地区で行われる特定健診を受けた方は除きます)

申し込み・受診方法
ご希望の医療機関に健診内容や費用をお問い合わせの上、医療機関で手続きをしてください。事前に「受診助成券交付申請書」の提出が必要

指定医療機関

3月に全戸配布しました「平成24年度版健康カレンダー」の12ページをご覧ください。詳しくは、直接お問い合わせください。

問い合わせ・申し込み先
市役所福祉課国保医療係
☎(22)2111(内線296)
市役所健康づくり課保健医療推進係
☎(22)2111(内線368)

新農村女性夢プランを策定

農村での女性の役割や地位向上を図り、男女共同参画社会を目指すため中野市農村女性活動推進委員会では新たに平成24年度からの「中野市農村女性夢プラン(以下「夢プラン」)」を策定しました。

定し、5年ごとの見直しを行いながら、さまざまな活動に取り組んできました。この夢プランは農業女性団体・組織の代表者で指針策定委員会を設置し、農業・農村の問題点、女性の役割などを話し合い、農家アンケートの結果を受けて策定されたもの

で、4月下旬に計画書を農家組合を通じて配布します。また、農家組合に属していない方で計画書をご希望の方は中野市農村女性活動推進委員会(市役所農政課内)までお問い合わせください。
問い合わせ先
中野市農村女性活動推進委員会(市役所農政課内)
☎(22)2111(内線250)



みんなには 電話医療相談所です

Q 飲酒して時々具合が悪くなる場合があります。急性アルコール中毒になると、どんな症状が出るのか、また対処法などを教えてください。

◇急性アルコール中毒を起こさないためには：
・ 一気飲みをしない、させない。
・ お酒を飲めない体質の人に飲酒を強要しない。
・ 飲み過ぎたら、水やお茶などを飲み血液中のアルコール濃度を下げる。
◇介抱の仕方
・ 絶対に一人にしない。
・ 衣服を緩めて楽にする。
・ 体を冷やさない。
・ 吐物による窒息を防ぐため横向きに寝かせる。
☆こんな時は救急車を呼びましょう

A お酒を飲む機会は一年中ありますが、特に春先は、職場などの歓迎会から始まり、普段よりも多量に飲む機会があります。この時期は一年中で一番急性アルコール中毒が多いといわれています。血液中のアルコール濃度が最高になるまでには、飲酒して30分から60分程度の時間がかかりますが、大量のお酒を短時間に飲むと血液中のアルコール濃度は急激に上昇します。すると、一気に「泥酔」「昏睡」の状態になり、場合によっては呼吸困難などの危険な状態になることがあります。

ゆっくり自分のペースで飲むことで、体が「これ以上飲めない」というサインを出してくれます。
問い合わせ先
市役所健康づくり課保健医療推進係
☎(22)2111(内線242)
北信総合病院医療安全管理室
☎(22)2151(内線5522)

電話医療相談所 ☎0300
午前8時30分から午後10時まで
土曜日・日曜日・祝日・12月30日～1月3日は除く
医療に関する相談に電話でお答えします